



2015年7月20日
号外 川越版
プレス民主編纂部
〒350-8601
川越市元町1-3-1
川越市役所 6F
民主党議員団内

山木綾子の議会ウォッチング No98

やまきあやこ

事務所 350-1137 自宅 350-1137
川越市砂新田4-4-6 サングリーン高階 川越市砂新田5-27-9
TEL・FAX 049-249-3306 TEL・FAX 049-242-3543
e-mail a-yamaki.11-26@nifty.com
URL <http://www.yamaki-ayako.com>



川越市議会議員



六月議会が開会しました

今年度の6月議会は、いつもの年より、10日程早くはじまりました。これは、6月に、友好姉妹都市であるアメリカのセイラム市から、姉妹都市締結30周年の記念事業に、川越市と共に市議会に招聘があり、市長並びに市議会としても議員を派遣する事と成ったためです。

市長からの議案は次の通りです。

～第4回定例議会提出議案～

1. 川越市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例及び川越市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を定めることについて
2. 川越市保育料等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて
3. 川越市立福原小学校大規模改造工事請負契約について
4. 川越市立寺尾中学校第規模改造工事請負契約について
5. 裁判上の和解について
6. インターネット環境分離用システム一式の取得について
7. 平成28年度川越市一般会計補正予算(第1号)

～報告～

1. 平成27年度川越市継続費繰越計算書(一般会計)
2. 平成27年度川越市公共下水道事業会計継続費繰越計算書
3. 平成27年度川越市繰越免許費計算書(一般会計)
4. 平成27年度川越市水道事業会計予算繰越計算書

～追加提出議案～

1. 固定資産評価員の専任につき同意を求めることについて

～開会日程～

| | | | | |
|-----------|----------|-------|-----|----------------------------|
| 5月24日 | 開会 | 6月10日 | 9時 | いじめ問題対策特別委員会 |
| 25.26日 | 議案研究(休会) | | 2時 | 2020年オリンピック・パラリンピック対策特別委員会 |
| 27.30日 | 質疑 | | | |
| 6月1日 | 議運 | 13日 | 10時 | 人口問題と社会現象に関する特別委員会 |
| 2.3.6.7.日 | 一般質問 | | 2時 | 川越駅周辺対策特別委員会 |
| 8日 | 4常任委員会 | 16日 | 閉会 | |

文化常任委員会行政視察

4月の18日から20日まで常任委員会の視察で北海道の札幌市・中札内村・帯広市の3市に視察に行っていました。

札幌では、サッポロサタデースクール・創造都市札幌の2項目について、中札内村では、友好姉妹都市交流事業から児童の絵画作品展と北の大地のビエンナーレ事業について、帯広市では、帯広図書館の『食』に特化した図書館サービスについて視察し意見交換を行いました。

4月18日(月) 札幌市

●サッポロサタデースクールとは

1. 希望する子どもが参加
2. 土曜日等に実施(長期休業中の実施可)
3. 原則学校施設で実施
4. 講師は地域の人材または企業等

この原則にかなっていればプログラムは、各地域で自由に実施する事が出来る。

地域と学校が支え合う仕組みづくりを目指した。

◆学習支援タイプ

学ぶ楽しさや学ぶ意義を感じ学習意欲の向上や学習習慣の形成が図れるようなプログラムを行った。



〈実際に実施したプログラム〉

先生や保護者ボランティアによる夏休みの学習支援

◆地域人材活用タイプ

地域の歴史・伝統文化の体験活動や在外経験者・外国人による異文化理解に関するプログラムを行った

〈実際に実施したプログラム〉

ジャンベ太鼓の演奏体験

◆企業連携タイプ

企業や商店などで働く人を講師に招き、学校の学びと実社会のつながりを伝える、キャリア教育などを行った。

〈実際に実施したプログラム〉

◆企業連携タイプ

企業や商店などで働く人を講師に招き、学校の学びと実社会のつながりを伝える、キャリア教育などを行った。

〈実際に実施したプログラム〉

電機メーカーによるエコと太陽光発電教室

◆体育振興タイプ

スポーツ選手や地域のクラブ活動指導者による専門的なスポーツ指導や各種講座を行った。

〈実際に実施したプログラム〉

アスリートによる走り方教室

その他次のような具体例がありました

- ・管理栄養士による親子料理教室
- ・語り部による地域の名所巡りなどの郷土学習
- ・大学教授による専門的な理科実験教室
- ・情報モラル親子セミナー
- ・元オリンピック選手による講話
- ・商店街やおやじの会との連携による各種講座 など

●創造都市さっぽろとは

創造都市の定義

市民一人一人が創造的に働き、暮らし、活動する都市の事を言う

市民の創造活動の自由な発揮に基づいて、文化と産業における創造性に富み、同時に脱大量生産の柔軟な都市経済システムを備え、グローバルな環境問題やローカルな地域社会の課題に対し、創造的な問題解決を行える「創造の場」に富んだ都市。とされている。

ユネスコ創造都市ネットワーク

対象となる取り組み分野

- ・文学 ・映画 ・音楽 ・デザイン
 - ・メディアアーツ ・ガストロノミー(食文化)
 - ・クラフト&フォークアート
- 札幌市が加盟決定した分野は「メディアアーツ」

メディアアーツを選んだ理由

- ・ITと文化芸術に関する取組の蓄積
- ・新たな表現手法を活用することによる様々な産業への波及効果に対する期待

- ・四季折々の様々なイベント開催による都市空間全体をメディアとして活用し魅力を発信してきた実績 等の理由からサッポロ市は「メディアアーツ」を選んでようだ

4月19日(火) 中札内村

●児童生徒の絵画を通じた交流事業

川越市と中札内村は、川越市の名誉市民の故相原久一朗画伯の取り持つ縁で平成14年に友好姉妹都市盟約がむすばれている。毎年川越市少年の翼の児童の受け入れや、中学1年生の相合訪問交流事業のホームステイなどの交流事業を行ってきている。



▼児童生徒の絵画交流

平成15年から両市村の小中学生の作品30点を相互に展示している。文化創造センターでは、村民文化祭の作品展と同時開催され、各学校では学習発表会や村民参観日に合わせて、展示されている。

中札内の皆さんは、川越が旅番組等でたびたび紹介されることもあって、認知度が



高く、関心を持って鑑賞して頂いているようだ。

当日は村長自ら視察にお付き合い頂き最後には雪の中での記念撮影となった。

4月20日(水) 帯広市

●「食」に特化した図書館サービスとは

帯広市の図書館は駅前のとっても立地条件の良いところに立っていた。

開館が10時30分からと言うことで、私たちがお邪魔した10時20分ごろには多くの市民が、シャッターが上がるのを待っていた。

◀目的▶

- ・あらゆる世代の「食育」を推進する
- ・帯広市の取組『フレーバーとたち』の情報発信や、地域の「食」に対する関心の向上を図る

◀取り組み▶

「食文化コーナー」

様々なテーマの本を「食☆ナビ」(毎月発行)で紹介、関連本を展示、貸し出すことで、利用者の意識、知識・作る技術を高めてもらう。

「フードパレーとたちコーナー」

帯広・十勝の「食」に関する資料を収集・展示・紹介。また、地元開催のイベント等の情報を発信することで、「地域」と「人」と「食」のつながりを深めていく。

◀特徴▶

「食文化コーナー」

毎月変わる展示テーマは季節も考慮し、健康、節約、時間短縮レシピなど、利用者のニーズが高いものになっている。



「フードパレーとたちコーナー」

帯広図書館は駅前に建っているため観光客も多い。コーナーに「フードパレーとたち」のミニのぼりを立て、「食」の街である事を利用者にPRしている。

◀取り組みの成果と今後▶

食文化コーナー「フードパレーとたちコーナー」で展示した本は、毎月100冊以上、貸し出しになっている。

特に、「フードパレーとたち」コーナーでは様々なジャンルの物を常設展示しているが、ジャンルに偏りがなく借りられているようだ。

今後はさらに、多くの方にご覧いただけるよう、一層、周知を図り、資料を充実させていく。関係部署と連携し、



図書館を会場に「フードパレーとたち」に関する講座等も開催して行きたい。

利用者が自ら学習するための、情報及び資料提供を行っていくと言う。

